

真声会 会報

第 47 号

2008年12月1日
発行

発行所
京都市立芸術大学音楽学部同窓会
真声会
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13番地の6
京都市立芸術大学音楽学部内
TEL (075) 334-2222

京都市立芸術大学創立130周年記念事業に向けての 取り組みが始まりました！

京都市立芸術大学は来たる2010年、創立130周年を迎えます。全学を上げて音楽学部美術学部共にあらゆる取り組みが始まりました。2009年には創立130周年の前年のプレコンサート(2009年12月4日、2010年2月19日、20日)、2010年には130周年記念コンサート(12月5日)が予定されております。

そこで、全国で活躍する本学出身の真声会会員の皆様のお力をいただきたく、130周年記念事業にあたり真声会に協力が要請されました。大村益雄真声会会長(1期作曲)が実行委員会副会長に、蔵田裕行名誉教授(3期声楽)が同理事に、大谷正和真声会副会長(32期ピアノ)が同監事として加わり、いよいよ創立130周年が動き出します。ほかに音楽学部側から理事として加わっているのは岸邊百百雄音楽学部名誉教授、朴龍三音楽学部教育後援会長、北あ

おい学生自治会長(3回生作曲)、呉信一音楽学部長、山本毅情報管理主事(24期打楽器)です。

また、130周年記念オーケストラへの協力要請には、真声会内検討委員会として松本真理子理事(15期マリンバ)、村上哲理事(33期ホルン)、西口勝理事(36期コントラバス)を中心に協力を進めてまいります。

また、この秋10月10日(金)より毎日新聞夕刊(関西版)にて京都芸大の歩みを振り返る「都の美—京都芸大130周年」の連載(毎週金曜)が始まりました。皆様どうぞご注目ください。

会員の皆様、130周年に向け、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

会員へのサービス向上につとめています！

真声会の後援演奏会のHPへのアップが大変速くなり、チラシの画像も同時に掲載されています。皆様、ぜひご利用ください。

また、京都市立芸術大学音楽学部定期演奏会の会員入場券が今号より会報内に印刷されています。皆様、ぜひご利用ください。

4年で100人《会員だより》

三村 光子(4期 ピアノ)

「あなたの人生は何ですか？」と聞かれたら「ピアノです」と答えます。
10才の頃より習い始めたピアノは、年末年始と旅行に出かけている日以外は、殆ど毎日係わってきました。自分の練習、演奏会、生徒のレッスン、コンクール、講習会、等々……。
「あなたの趣味は何ですか？」と聞かれたら「作曲することです」と答えます。
本当はピアノを弾くことより音符を書く方が好きでしたから、童謡、歌曲、合唱曲、歌劇と、400曲余りになっています。
「如何やって作るのですか？」と聞かれたら「言葉を音符に翻訳しているのです」と答えます。
5線紙の前で詞や台本を読んでいますと、右手が自然に5線の上を走り出します。それからピアノに向かって、自分の好きな音を弾き易い様に書き並べていきます。私の作品の全てにピアノ伴奏譜が付いています。
「あなたの夢は何ですか？」と聞かれたら「多くの人に歌って頂けることです」と答えます。
主人の手書き浄書による楽譜が10種類、パソコン入力による歌劇が4種類、これは私達の共同作業で産まれた可愛い子供達です。
発表する時は大抵自分で伴奏を弾いています。
子供達に将来の夢を託して、生命のある限りピアノと係わり続けて行くと思えます。

根来 順子(9期 ヴァイオリン)

「4年で100人」の原稿依頼があり、これといった活動をしていない私ですが、一主婦として音楽と共に暮らしてきた様子を記してみました。
40数年前、短大を卒業したのですが、たった2年の学業は余りに短く、先生も「大学ではほんの基礎を学んだだけだから、これから先は自分で勉強するように」とおっしゃった言葉が忘れられず、今でも勉強が足りていない状態です。でもその頃は今とちがって一杯音楽の仕事がありました。京響入団

を是非とも学校側からお薦めがありましたが、オーケストラの時間、カールチェリウス先生がとても恐く、いつも胃が痛んでいましたのであきらめました。その他、中学校や音楽教室の先生の仕事があり、私はいろいろな仕事をしながらNHKサロンオーケストラに入れていただき、ラジオ放送で「昼のひとつとき」の時間に演奏していました。

その時のご縁で、西垣淳子様(8期)鈴木美智子様(9期)とでピアノトリオを結成し、それから40数年ずーっと続け、小学校、幼稚園、今では老人ホームで演奏出来ている事はとても幸せです。「こんなに長く続くとは思わなかったわね」と、3人は驚いていますが、これも音楽の終わりのない魅力で結ばれているのでしょう。

10年程前から、私達の学年を中心に9人のグループで「アンサンブル会」と名付け、楽器店をお借りし、1年に1度連弾、合奏、独奏、独唱等をして集っています。健康でこうして演奏が出来る事が何よりという目標で楽しんでおり、又、コール真声会にも入れていただき、音楽の広がりや楽しさを味わっています。

このように音楽が続けられているのも、家族の理解は勿論のこと、学生時代の友人のお陰と深く感謝しています。

一年生坊主の独り言

田淵 幸三(14期 声楽)

「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」これは親鸞聖人御消息の有名な御文です。現在の荒んだ社会に想いを馳せると浮かんできたのです。実はこの度、一念発起、浄土真宗本願寺派僧侶としての道を歩む事となりました。音楽は続けます。お世話になった連盟、協会などを退会させて頂き、別の角度から音楽に関わります。省みたとき、慙愧の念に苛まれますが「遅くはない。こんな私でも、お役に立つ事が」等と考えるようになりました。遇い難い仏法にご縁を結ばせて頂いたのも、如来様のご本願のお陰と、親鸞聖人や善知識のお導きであると感謝いたしています。学校では、学生とは大変上手くいっています。以前は「教える事が自分の使命である」と、驕りがありました。

やはり相手の意見を聞き、同じ目線で接することが肝心ですね。話せば何とかならず、周囲の事から、政治、国際問題などの大きい事でも、かなりの事が改善できると思います。一寸甘いかも知れませんが、真実社会に生きたいものです。演奏機会は大変減りましたが、それでも必ず練習時間は確保しています。中央仏教学院通信教育3年生在学中です。眠い目を擦りながら、教科書を読み、日曜日は教学の勉強会や津村別院での勤式練習で、声明や作法の実習です。将来、出来れば教師(住職になる資格)も修めたいと思っています。入寺などとは考えていませんが、音楽でのボランティア、篤志面接員なども視野に入れていきます。ご意見がありましたらお知らせ下さい。しんどい事ですが、「これもご縁」、お念仏を喜ぶ日日を大切に過ごす事こそが幸せなのです。私の求道は始まったばかりです。今後とも宜しくお願い申し上げます。南無……合掌。

村上 栄子 (31期 作曲)

卒業の翌年に、縁あって電子楽器メーカーのローランドに入社。以来約二十年間、二度の育児休業を挟みつつ会社員としてすごしてきました。平凡なサラリーマンというのは、真声会会員の中ではむしろ異色の経歴かもしれません。

これまで会社の中では、教育、MIDIデータ*、ウェブ・コンテンツ、英文カタログ制作など、様々な業務に携わってきました。MIDIデータの制作では、僭越にも会員の方々にたくさんのお仕事をお願いし、大変お世話になりました。ありがとうございます。(※筆者注:MIDIとは電子楽器とコンピュータとがやりとりするための通信形式で、MIDIデータは、いわば電子楽器のための楽譜にあたるものです)

在学中貴重な薫陶を頂きながら、私自身は音楽家として一人前になることはできませんでしたが、楽器を通じて音楽の素晴らしさ、楽しさを世界に広めるという形で、ずっと音楽に関わる仕事を続けてこられたことを幸運に思います。

思えば、気が散りやすい性格の私にとって、同時にいろいろな事をこなさなければならない子育てと、慌ただしい会社員とを両立させることは、案外、向いていた生活スタイルだったのかなとも思います。

これからの未来を拓く若い人には、音楽の周辺にも目を向けて、自分の能力を幅広く生かすことを考えて欲しいと思います。例えば、うまく演奏できるだけでなく、楽しそうに演奏できればチャンスは広がります。トークができればさらに広がりますし、それを外国語でもできればより一層活躍の場が広がることでしょう。ひとつひとつはナンバーワンでなくても「あれとこれができるのは私だけ」といった「組み合わせ技」も大きな強みだと知って、可能性を広げて欲しいと思います。また、女性は子どもを産むことをためらう方もいらっしゃるでしょうが、人の親になることは他に代えがたい経験であり、人脈も広がります。勇気を持ってチャレンジして欲しいと思います。

「湖のしらべ」に思うこと

清水 幸子 (37期 作曲)

今年も真声会滋賀支部の演奏会「湖のしらべ」の季節がやってきました。今年の本番は2008年11月9日(日)です。この演奏会には、新しく卒業された新人会員の方を中心に数組の出演者がいらっしゃいます。プログラムの最後には、その演奏者の方々全員によるアンサンブルが毎年の恒例になっていて、そこで演奏される曲を出演者皆さんの楽器に合わせて編曲するのが私の役割となっています。

ここ十数年、この編曲を私ともうひとり、作曲専攻の後輩日向宣広氏とで交互に担当させていただいております。曲はその年に流行したものや親しみやすい曲でしたが、今年は20周年ということで、合唱曲を小編成のオーケストラに編曲して演奏するという試みでした。

私事ですが、現在5歳と2歳の子供がおり、自分の自由な時間が思うようにとれず、なかなか作曲や編曲に向かえない日々が続いております。今年の編曲は、いつもの年よりも規模が大きく、編成もいつもより大きいものだったので早めに取りかかったのですが、やはり予想以上に大変な事になってしまいました。締め切りといわれていた日を越え、ご迷惑もおかけしたのですが、終止線を引いた時には達成感と自分の書いたものが音になる楽しみでいっぱいになりました。

毎日、子育てと仕事と家事に追われ、自分の腕を磨くどころか保つのも精一杯……という生活を送っていますが、このような機会をいただけることで少しは自分も何かできるのかもという気持ちを持てる気がします。これからは細々とでも何か活動ができれば……と思っています。

小玉 晃 (37期 声楽)

1999年ヴィーン国立音楽大学卒業と同時に帰国し、ブラームスの歌曲集《美しきマゲローネのロマンス》を皮切りに、以来、ドイツ・リート、オラトリ

オを中心に、オペラも含めた演奏活動をしております。一方、大阪音楽大学、同志社女子大学では後進の指導にも力を入れており、いつの間にか海外で活動、留学する門下生も多くなりました。また帰国した頃より始めた合唱指導も、多方面からの依頼により広がりを見せ、コンクール審査依頼も増えて参りました。

私は生徒に指導するにあたり、言葉で様々なことを伝えることは勿論ですが、自身の演奏に取り組む姿そのものが模範とならねばならないと思っております。また、演奏活動を続ける限り常に進歩し続けることが必要だと考えます。つまり、引退する時が最も進歩した状態でありたいと思います。そのための日々の努力や研究に加えて、可能な限り渡欧して本場の厳しい環境に身を置いて勉強するようにしています。

この夏はオーストリアのシュヴァルツェンベルクで開催されているシューベルトアーデでペーター・シュライヤーの下でリートを、またアムステルダムでマックス・ファン・エグモントの下でバッハ、ヘンデルなどバロック音楽を学びました。

シュライヤーのレッスンではドイツ語のテキストを明確に発音する方法や、実際の演奏に直ちに結びつく事を多く学ぶことが出来ました。そして夕方と夜に催される、今が旬の一流の演奏家によるコンサートでは大変良い刺激を受ける事が出来ました。共演者であるピアニスト達も素晴らしく、リート芸術におけるピアノの重要性を再認識しました。帰国後、合唱指導の折など「先生の指導が情熱的になった」と言われることが多いのですが、なるほど音楽に対するエネルギーが充電されたのかも知れません。今後の演奏活動への大きな力となる、収穫の多い夏休みでした。

伊藤 朱美子 (41期 打楽器)

大学院を修了してもうすぐ10年が過ぎようとしています。入学してすぐに恩師から「10年後どのような音楽家になりたいかビジョンを持って勉強しなさい。」と言われたことを今でも覚えています。

卒業後、毎年1・2回ソロやアンサンブルの自主企画のコンサートをする事を目標に演奏活動をしてきましたが、その中で基盤となっているのが、マリンバアンサンブルでバッハを演奏することです。しかも信仰に土台を置いて、つまり神をほめたたえ、その栄光をあらわすことを目的に……。

そしてその目的で結成したのが“Ensemble Philia”(アンサンブルフィリア)です。フィリアとは、「友愛、友情」という意味のギリシャ語で、価値観を共有するもの同士が同じ目的を目指して互いに励ましあい、互いにとっての善を喜び合う関係を意味しています。

バッハの音楽を理解するには、「信仰を持たなければ理解できない」とか、「純粋な音楽として宗教を超えたものである」など色々議論があると思いますが、それはその人自身がどう考えるか、どう理解するかであり、答えは一人ひとり違うものだと思います。

しかし、バッハが考えていたことをより深く理解したいと思ったのは、誘われて何となく行った教会での出来事がきっかけでした。コンサートなどで教会に足を踏み入れることはあっても、礼拝目的に行くことは初めての経験でしたが、それは自分が思っていたのとは違いそれほど堅苦しいものではなく、みんなで集まり、讃美歌を歌い、牧師さんの説教を聞き、ともに祈るといった感じでした。しかし、その時の讃美歌や祈りが、私にとって大きな変化をもたらすきっかけとなった気がします。探していた答えがそこにあった気がしました。

答えとは、「讃美歌や祈りは神に向けられている」……ということ。

聴衆のためにでもなく、もちろん演奏している自身のためでもなく、それらは神のためのもので、演奏も上手いとか、こう演奏しなければならないとか……そういうものではありませんでした。祈りもどこに向けられているのか、はっきりとしていました。そして、神がおられるのだ!と言うことを知りました。

なぜ、演奏するのか?音楽とは?という問いに対してモヤモヤとした答えしか出せなかったそんな時にこのような体験をしました。

目的は、“神をほめたたえ、その栄光をあらわすこと”。バッハの自筆譜の最後に「Soli deo Gloria ただ神にのみ栄光があるように」と書かれているように、私自身も信仰を持ち神をほめたたえるために演奏したいと思ったのです。もちろん、教会音楽だけを演奏するわけではなく、キリスト教と関係ない曲を演奏することも多々ありますが、私にとって一音一音すべてがそのようになつたらと願っております。

そして、これは、10年後の……ではなく、生涯のビジョンとなりました。

松室 華子 (41期 声楽)

大学院を修了して、早9年が経とうとしております。院を修了後、パリとミュンヘンに留学致しました。現在は京都を拠点に演奏活動をしながら、音高、音大の受験生や、音大を卒業された演奏家の方々の指導をさせて頂いて

おります。昨年より毎週土曜日には、「京都子どもの音楽教室」で小学校高学年から高校生までの合唱クラスと、ソルフェージュを教えさせて頂いております。“教えることは教わること”と昔から申しますが、そのことを痛感する今日この頃です。それと同時に、自分が教えさせて頂く立場になって、ますます今までご指導下さった先生方への感謝の気持ちが強くなりました。

振り返ってみますと、京芸での学生時代は、本当に恵まれた環境で勉強させて頂いたと実感しています。同じ志を持った素晴らしい仲間とともに切磋琢磨し合い、学食ではいつまでも音楽や将来の話をしていたことを思い出します。授業やレッスンで、先生方に頂いたお言葉の一つ一つが、今もなお私の胸に深く刻まれており、私にとって一生の糧となることを確信しております。

一日一日を大切に頂いて、今後もなお一層精進してまいりたいと思っております。

石原 由佳子 (48期 ピアノ)

大学院卒業と同時に、私は京都市立芸術大学音楽学部の音楽教育研究機関である「京都子どもの音楽教室」の常勤講師となり、今年で4年目を迎えました。ここで私は聴音や合唱の授業に加え、演奏委員という役も任されています。

この教室では、リトミック・ソルフェージュ・合唱・合奏・作曲・鑑賞クラスがあります。これらの通常授業の他に、ピアノにおいて言えば実技面での直接的指導はありませんが、スケール・アルペジオの試験や定期演奏会でのソロ演奏の為にオーディション、ピアノ公開授業などの行事も開催しています。演奏委員とは、この実技面全般を担当し段取りやサポートをしていく役で、慣れない事務的な作業をしつつ、行事の時には演奏アドバイザーである音楽高校や京芸大の先生方にもお世話になっております。演奏する側だけでなく裏方的なお仕事をしていくこの役を通して、色々学ばせて頂いております。

大学時代は、自分が身を置いている「大学」+「演奏」が私の生活の中心でした。今もソロ、伴奏、室内楽をさせて頂く機会はありますが、やはりこういう環境にいと年々、教室の生徒達の年代(年少~高校)が、虫めがねで拡大されるかのように映って来ます。このような視点になって気付いたことは、「生徒達は皆『一生懸命』音楽に取り組んでくれている」ということ。何かの時に皆の集中がふと揃う、皆の『一生懸命』が「音楽」という共通項を通して一つになれる瞬間があるのです!

そのような時、あるいは生徒の本番での集中力を目の当たりにした時、思うことがあります。一さて、果たして私は今、彼らのように『一生懸命』ピアノに取り組んでいるのだろうか?と。

音楽教室は私にとっていろんなことを考えさせられ、気付かせられる場所

なのかもしれません。一28歳になろうとする今の自分の『一生懸命』を形にしたいと思い、ソロリサイタルを開催してみることになりましたー
そういう地点に今、私はいます。

井尻 和喜 (50期 ヴァイオリン)

現在、京都子どもの音楽教室に勤務させて頂きながら、地元の音楽教室やオーケストラのエキストラなどで活動しています。

大学院を卒業して2年ほどしか経っていませんが、音楽の分野で活動できていることをありがたく思っています。また、職場やさまざまな所へ仕事に行ったりするたびに、京芸卒の先輩方、それも京芸の一ヶ台の卒業期の方から最近の方に至るまで、幅広い年齢層の先輩にたくさんお会いし、大変お世話になり、また、いろいろなことを教えていただいております。

実際に社会に出てみると、学生時代とは比べ物にならないほど幅広いことを要求されることに当惑することもありました。楽器の演奏だけをしていただけという、今から思えば幸せだった頃とは違い、社会的なさまざまな責任を果たすことを学ばなければなりません。まだまだ、慣れるには程遠く、失敗と反省の連続です。

勤務させて頂いている京都子どもの音楽教室では、毎年、幼稚園の子(3歳~5歳)たちがヴァイオリンを最初から始めるために入ってきます。初めて楽器を触り、弾けるようになっていく過程は人それぞれで、どのように教えたらやる気を持ち、上手になっていくのかということもさらに研究し、経験を積んでいかなくてはなりません。最初は、まったく落ち着かなかった子がいつの間にかレッスンをちゃんと受けられるようになり、上達していくのを見ると本当に感心させられます。子どもの純粋さや素直さ、謙虚さ、鋭さには、時にとっても学ばされることもあります。

すべてがまだ始まったばかりのところですし、演奏に関してもさらに研鑽を積む必要があると感じています。今後は、現在の活動を続けながら、引き続き研鑽を積んでいきたいと思っています。

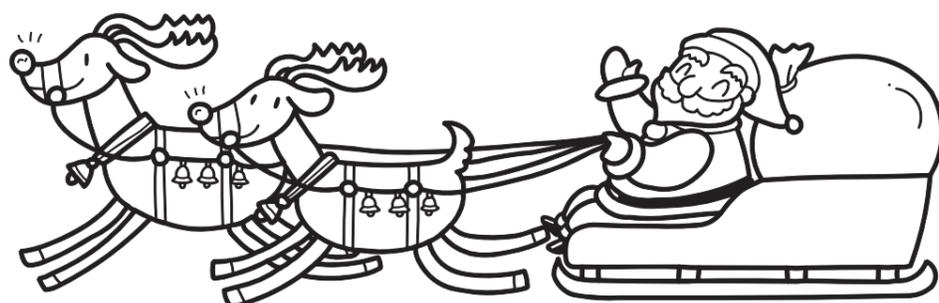
楽器の演奏というものは、職人技術のように磨いていく部分が大いにあると思いますが、音楽である限り表現があります。表現は、表現したいもの、つまり心の中からのメッセージがなければできないと思います。そういう意味では、演奏は表現するものを演奏者自身が持っていないとできないといえます。ですから、自分自身も磨いていく必要があると感じております。

なかなか思うようにいきませんが、謙虚に誠実に今後も学ばせていただきたいと思います。

今号の会員だよりには10名の会員の方より寄稿いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

真声会会員のコンクール等受賞者

- 第7回堺国際ピアノコンクール (平成20年5月28日(水)ー6月1日(日) ソフィア堺) 第1位
大学院ピアノ専攻1回生 川原 慎太郎
- 第7回堺国際ピアノコンクール (平成20年5月28日(水)ー6月1日(日) ソフィア堺) 一般部門・奨励賞
ピアノ専攻2回生 山下 賢裕
- 第7回堺国際ピアノコンクール (平成20年5月28日(水)ー6月1日(日) ソフィア堺) 一般部門・第4位
大学院ピアノ専攻2回生 金田 仁美
- ISC M世界音楽の日々2008 (平成20年10月25日 リトアニア・ヴィリニユス) 入選
平成11年度大学院修士卒業 作曲専攻 平野 一郎
- 第17回ABC新人コンサート (平成20年6月14日(土) ザ・シンフォニーホール 大阪) 第17回ABCフレッシュコンサートのソリストに推薦
大学院ピアノ専攻1回生 川原 慎太郎
- 第2回野鳥稔・よこすかピアノコンクール (平成20年5月17日(日) よこすか芸術劇場) 最高位 (1位なし2位)
平成18年度ピアノ専攻卒業 類家 唯
- 第12回松方ホール音楽賞 (平成20年8月11日(月) 神戸新聞松方ホール) 奨励賞
大学院ピアノ専攻1回生 川原 慎太郎
- 第21回和歌山音楽コンクール (平成20年8月27日(水) 和歌山市民会館) 声楽部門3位 (1, 2位該当なし)
声楽専攻3回生 中嶋 俊晴
- 京都ピアノコンクール2008 (平成20年8月24日(日) 京都府民ホールアルティ) 金賞及び京都新聞社賞 (最優秀賞)
大学院ピアノ専攻1回生 樺原 藍 (器楽(ピアノ))



真声会 各支部活動報告

京都支部

先の会報で予告として案内させて頂きましたが、5月18日に第25回記念プロムナードコンサート(支部設立20周年記念)を京都コンサートホール・ムラタホールで満席に近いお客様を迎えて開催致しました。バロックヴァイオリンとチェンバロ、ピアノソロ、休憩を挟んで朗読とピアノ、最後にピアノ重奏とユニークな流れでしたが、集中が途切れない、設立20周年にふさわしい素晴らしいコンサートでした。その一週間後の5月25日に呉竹文化センターにて本山秀毅氏による公開講座「やさしい合唱指導とアンサンブル」を開催、参加された皆様から「いろいろ実際に役立つ事があって有意義な会であった」と好評を頂きました。9月7日には総会を開催。昨年に続いて岩崎勇名誉教授に講演をお願いし、初めてのオーボエとの出会いと同時にすっかりオーボエの魅力に惹かれて、音楽の道に進まれるまでの大変なご努力、芸大移転のご苦労話等を楽しい雰囲気の中でお話し頂きました。

引き続き懇親会に移り、親睦、交流を深めました。毎年の事ながら出席者が役員含めて20数名と参加者が少ない事が悔やまれます。(支部会員総数300数十名)卒業して間もない若い会員には個人的にも参加を呼びかけましたが、「プレッシャーを感じてしまう」と思いもよらない答えが返って参りました。総会のみならず、支部活動活性化のために、若い世代の積極的な参加は不可欠ですので、今後若い会員に日常的に声をかける事を心掛けましょう!と申し合わせました。9月7日付けで、若干の役員異動があり、又新しい年度へ踏み出したところです。京都支部は役員それぞれがボランティア精神、すなわち自発的に従事し、活気溢れる活動を行っているという意味に於いて素晴らしい団体だと思いますが、今後役員同士の連携プレイを充実させて、さらに良い団体を目指し努力を重ねて参りたいと思います。今後のスケジュールは、12月20日に呉竹文化センターにて藤井園子氏による公開講座、2009年5月3日に、アルティにて第26回プロムナードコンサートの開催を予定しています。

京都支部長 阪田誠康(16期P)

滋賀支部

今年度は当支部設立20周年です。記念の演奏会をどう盛り上げようかと役員で知恵を出し合い、新人会員はもちろん、できるだけ多くの会員に出演してもらえらるプログラムをと考えました。

11月9日、しがぎんホールでの第20回演奏会「湖のしらべ」の出演者を次に掲載させていただきます。(敬称略)

最後の唱歌メドレー「ふるさとの四季」には幅広い会員に結集していただき、盛大に記念の演奏会を実施する事ができましたことを報告いたします。感謝。

- 1 独唱 村辺 恵奈(53期) 伴奏 本山 加奈
- 2 クラリネット 中井 絵理(52期) ピアノ 松田 千夏(53期)
- 3 独唱 佐藤 光音(53期) 伴奏 松田 千夏
- 4 クラリネット 伊藤咲代子(53期) ヴィオラ 矢島 千愛(53期)
ピアノ 松田 千夏
- 5 編曲 清水 幸子(37期)
ソプラノ 木南 伸子(39期) 小松千加子(3期) 村辺 恵奈
メゾソプラノ 佐藤 光音 中安 容子 西谷真理子(18期)
アルト 西 あかね(43期) 林 育子(37期)
フルート 村上 奈美(43期) オーボエ 山出 涼子(52期)
クラリネット 伊藤咲代子 ファゴット 大角多佳子(48期)
ヴァイオリン 桑名しのぶ(47期) 山本美香(32期)
ヴィオラ 矢島 千愛 チェロ 細辻 秀美(40期)
打楽器 小松 りみ(23期) 中谷 満(18期)
ピアノ 井出 悟(20期) 指揮 杉中 博(19期)

滋賀支部長 杉中 博(19期Tp)

関東支部

会報誌『Harmony』の新企画

平成20年6月9日、真声会関東支部第13回総会が『銀座キハチ』にて開催され、出席者14名(委任状32名)により議案の承認、役員の改選などを行いました。現在会員数81名、定期演奏会などを通して親睦を図りつつ、楽しく活動して行きたいと思えます。

さて、関東支部会報誌『Harmony』第13号(平成20年7月22日発行)に新企画「この人にきく」が登場しました。東京周辺で活躍する卒業生へのインタビュー記事です。息子の学校のPTA広報誌づくりに精を出し、関東支部の活動にすっかりご無沙汰していた私に役員の曾我尚江さん(27期)から

「あなたにピッタリよ」と言わんばかりに依頼があり、インタビューから記事まで担当させて頂くことになりました。

今回は、NHK交響楽団首席ファゴット奏者水谷上総さん(32期)にインタビューさせて頂きました。

音楽との出会い、良き師との出会い、留学先ドイツでの苦労話などを聞かせていただきました。印象的だったのは、学生への指導について。現在、東京芸大などで後進の指導にあたっていらっしゃるようですが、恩師である光永武夫先生がそうであったように音楽だけでなく、社会にでたときに困らないように日常なこと、例えば口のききかた、メールのしかたなども指導するよう心がけていらっしゃるそうです。

終わってから録音を聞くと結構聞き手の私が余計なことを話し、もう一歩踏み込んだ、その先のお話を聞きそびれていたりと、脱線したり……。まだまだ聞き手修行が必要です。

この企画続くのでしょうか?皆さん、ご協力よろしくお願い致します。
神代稔子(31期P)

奈良支部

6月15日(日)に平成20年度総会とサロンコンサートを「ホワイエ ヴェール」(藤村久美子(16期ピアノ)邸内)にて実施いたしました。自然に囲まれた環境で素敵なコンサートとなりました。出演は以下のとおりです。

- ♪ ヴァイオリン独奏 野寺弘美(43期) 伴奏 玉井幸子(28期)
- ♪ テノール独唱 菊田義典(42期) 伴奏 藤村久美子(16期)
- ♪ ピアノデュオ 藤村久美子、玉井幸子
- ♪ 創作歌劇(三村光子作曲) 飯田善弘(33期)、菊田義典
伴奏 三村光子(4期P)

創作歌劇の古代衣装は作曲者による本格的な手作りで、演技を交えての熱演でした。

続いての総会において役員改選が行われ、2期4年間ご尽力いただいた三村光子支部長、西園真理副支部長から高橋せつ子支部長、菊田義典・玉井幸子副支部長にバトンタッチされました。その後、懇親会にて食事を楽しみながら親交を深めました。

10月4日(土)に秋篠音楽堂において第12回定期演奏会を開催いたしました。

- ♪ ヴァイオリン独奏 野寺弘美(43期) 伴奏 玉井幸子(28期)
- ♪ テノール独唱 佐藤謙蔵(35期) 伴奏 桐 紀子(37期、客演)
- ♪ ヴィオラ独奏 西園真理(31期) 伴奏 雁瀬由香(客演)
- ♪ 小太鼓独奏 前川典子(39期)
- ♪ ピアノ独奏 山口暁子(42期)

以上の出演者の熱演と多数の観客とスタッフの活躍のお陰で活気溢れるすばらしいコンサートとなりました。

今年度支部役員の新体制の出発にあたり、新たに支部事務局を開設することにいたしました。江口恭子(37期)が担当いたしますのでどうかよろしくお願いたします。
奈良支部長 高橋せつ子(16期Per)

大阪支部

2008年度総会は、去る5月31日(土)、大阪駅・ホテルグランヴィア大阪19階の中国料理「北京」にて、お昼ははさんで和気藹々のうちに開かれました。

大村支部長挨拶のあと、議事にはいり、一年(07年4月~08年3月)の報告では、「プリリアント・コンサート2008」(2/24フェニックスホール)、「プロムナード・コンサート」2回(4/22門真市、8/26河内長野市)、事業企画「大村さんの『世界旅行』のお話を聞く会」(11/10ギャラリー菊)の開催、支部報発行3回、世話役会4回、コンサート企画・事業企画合同部会1回、コンサート企画部会1回、事務局会議1回、大阪支部後援名義使用許可公演12件が、内容説明と共に報告、続いて、会計報告と会計監査報告がいずれも承認されました。

また、今年は任期2年の世話役及び委員の改選期で、自薦、他薦による候補者一覧を提示、全員が承認され、支部長など委員は留任をお願いすることで承認、今年度の世話役は年齢層が更に広がりました。後の世話役会での合議で下記の通り役割分担を決めました。

これからの活動について、「プリリアント・コンサート」開催については、少し時間をかけてじっくり取り組むべく今年度の開催は見送る。「プロムナード・コンサート」の開催が大阪狭山市の協力も得られて11月2日午後2時、SAYAKAホールで「動物の謝肉祭」を柱としたプログラムで開催することが報告、承認されました。

●2008, 09年度 世話役(○印は主催者)

支部長=大村益雄(1期作)、副支部長、○広報=金森重裕(6期CI)、副支部長、○コンサート企画=大富栄里子(28期P)、○事業企画=中島慈子(10期声)、事務局長=樋口博行(27期P)、庶務・会計=飯田真基(17期Vn)、庶務・名簿=大岡真紀子(29期P)、事務局=西川香代(45期CI)、広報=鈴木安子(1期P)・小林芳子(2期P)・五嶋利恵(41期P)、コンサート企画=大西多恵子(10期声)・田淵幸三(14期P)・河村さと子(16期声)・柴田千恵子(18期声)・森池日佐子(18期声)・大江浩志(27期FI)・釋まなみ(32期声)・石若雅弥(50期作)・御堂紗恵(51期声)、事業企画=中林節子(12期声)・康 瑛(31期声)・平田昭浩(42期Cb)、監査=井上惇子(1期P)・竹内恵子(5期Vn)〈文中敬称略〉 金森重裕(6期CI)

----- 切り取り線 -----

京都市立芸術大学音楽学部 第130回定期演奏会

音楽学部同窓会真声会 会員券

2008年12月6日(土) 19時開演(18時開場)

京都コンサートホール大ホール

切り取り線

京芸だより

～定期演奏会をぜひ聴きにいらしてください～

来たる12月6日(土)午後7時より、京都市立芸術大学音楽学部第130回定期演奏会が京都コンサートホール大ホールにて行われます。今回は『必聴! ロマンの調べ』と題し、ブラームスの大学祝典序曲に始まり「運命の歌」を経て、チャイコフスキーの名曲交響曲第6番「悲愴」を、新国立劇場オペラ部門芸術参与(次期芸術監督予定者)尾高忠明氏指揮でお楽しみいただきます。

卒業生の皆様、ぜひ在学生の演奏をお聴きください。

真声会の会員の皆様は、無料でご入場いただけます。会場受付にて卒業・修了期、専攻、お名前をお知らせください。

また、今回よりの会員サービス、会報4頁下の真声会会員券をぜひ切り抜いてご利用ください。この無料チケットは、会員さまご本人以外に、ご家族、友人知人のかたなど1名がご利用可能です。

みなさまお誘い合わせの上、ご来場をこころよりお待ちしております。

京都市立芸術大学音楽学部 第130回定期演奏会 (響/都プロジェクト 京芸ルネッサンス2008コンサートシリーズ)

日時：2008年12月6日(土) 19:00開演(18:00開場)

J. ブラームス：大学祝典序曲 ハ短調 作品80

J. ブラームス：運命の歌 作品54

P. I. チャイコフスキー：交響曲第6番ロ短調「悲愴」 作品74
指揮：尾高忠明

出演：京都市立芸術大学音楽学部管弦楽団・合唱団

会場：京都コンサートホール 大ホール

京都市左京区下鴨半木町 075-711-2980

入場料：1200円

チケットお申し込み：京都コンサートホール 075-711-3090

主催：京都市立芸術大学

制作：京都市立芸術大学音楽学部 京都市立芸術大学リエゾンオフィス
お問合せ：京都市立芸術大学企画広報課・リエゾンオフィス TEL:075-334-2204

ホームページ <http://www.kcua.ac.jp/>

WEBマガジン「沓音」<http://w3.kcua.ac.jp/calliope/kutsuoto>

2008年度演奏旅行のお礼とご報告

この度は2008年度京都市立芸術大学音楽学部演奏旅行にご援助くださり、本当にありがとうございました。様々なアクシデントやトラブルはありましたが、参加者63名全員が無事に京都に帰ることができ、今は皆、日々の大学生活に立ち戻っています。

さて、毎年様々な地方を回っているこの企画ですが、今年は9月16日から19日にかけて三泊四日のスケジュールで富山県の各地を回り、小中8校の方々にオーケストラ演奏を聴いて頂きました。小中学生にもわかりやすい映画音楽から、少し本格的なチャイコフスキー作曲(くるみ割り人形)などを演奏しましたが、どの学校でも皆さんとても楽しんでいただけたようで、たくさんの感謝の言葉を頂くことができました。子供たちを飽きさせないように、一つ一つの楽器を紹介していく【楽器紹介コーナー】や指揮を体験してもらう【指揮者体験コーナー】などをプログラムに盛り込んだのですが、子供たちの反応は本当に素直で、私たちもとても楽しく演奏ができ、貴重な体験ができたと思っています。中でも各学校の校歌をオーケストラで演奏した時の子供たちのキラキラした眼差しは、これからずっと忘れることはないでしょう。また、帰って来た翌日の20日には、西文化会館ウェスティにて日ごろ京都芸大を応援してくださっている方々や地域の方々の皆様に演奏旅行のご報告を兼ねて、同じプログラムでの公演を行いました。その日回収したアンケートには、「楽しかった」「〇〇の演奏が良かった」「〇〇の企画が良かった」などたくさんの嬉しい言葉が綴られており、実行委員一同、この演奏旅行をやりきって本当に良かったと思っています。

行き先を富山県に選んだ理由としては、今年の実行委員の中に富山県出身者がいたことが大きな理由としてあげられます。その人の持つコネクションを最大活用してもらうことによって、行き先の学校はさほど苦もなく8校が決定しました。もちろん全てがそのコネクションによる学校ではありませんでしたが、そういったコネクションの有無はこの演奏旅行に於いて非常に重要な要素になっており、あらゆる場面でその力を発揮してくれました。またコネクションといえ、今回は私たち実行委員の持つ小さなコネクションが大きく発展することもありました。例えば今回の企画のことで私は初めて本学の大森事務局長とお話することができたのですが、氏を通して、なんと北陸コカ・コーラボトリング株式会社様から約240本ものお茶の支援を頂くことができたのです。気付かぬうちに水分不足に陥りがちだったこの旅行で、この支援は非常に我々を助けてくれました。他にも、この演奏旅行の企画を通

して様々な方々と本当に良い出会いができたと思っています。あらゆる面でお力添えをしていただいたり、寄付をいただいたり本当にいくら感謝しても足りないほどです。このような一つ一つの出会いは、演奏旅行にとって非常に重要なことなので、これからもこの一期一会を大切にしていきたいと思っています。

ところで、今年は小中8校を回ったのですが、昨年まではもっと多くの学校を回っていました。しかし、一日3公演というハードスケジュールは参加者の体力と精神力を限界まで使い切ってしまうので、今年は一日2公演とし、余裕を持った移動時間の確保、また各公演のクオリティの向上を目指しました。これは成功だったと実行委員一同思っております。特に良かったことは、時間の余裕の確保によって実現することが可能となった宿舎でのコンサートです。4日間もお世話になる宿舎の皆様、感謝とお礼の気持ちを込めて、オーケストラの演奏はできませんでしたが、小さなアンサンブルの演奏をいくつか聴いていただきました。付近の中学生も聴きにきてくれて、宿舎の方々も大いに喜んでくださったので、とても有意義な時間が過ごせたと思っています。

このように例年のシステムから少しずつ新しい試みをしたところが他にもいくつかありました。確かに新しい試みをすることは楽なことではありませんでしたが、しかしこれからの演奏旅行でも、少しずつ新しいことを試していく、さらにより良いものを目指していくと欲しいと思います。最近の日本では大阪の例に見られるように、人々のクラシック音楽への求めが少なくなってきました。だからこそ、私たちはより良いもの、最高のものをもってして、世の中にクラシック音楽の素晴らしさ、またその必要性を伝えていかなくてはならないからです。この演奏旅行の目的は多くありますが、一番大切な目的はそこにあると考えています。

もちろん様々なミスやアクシデントもあり、私たち実行委員には辛いこともたくさんありましたが、この4日間の経験は私たちにかけがえの無いものを与えてくれました。この経験と子供たちとの思い出を糧に、音楽と新たな気持ちで向き合っていきたいものです。

いたらぬ私たちを支えてくださって、ご援助くださり、本当にありがとうございました。この先もこの演奏旅行はさらに良いものを目指して進んでいきますので、どうぞこれからも変わらぬご理解とご支援の程よろしくお願いたします。
2008年度実行委員長 3回生 山本善哉(弦楽)

みんなでいっしょに記念撮影



真声会後援の演奏会

【これから開催される演奏会】

♪デュオ・フェリーチェ ピアノデュオリサイタル
 出演：水野雅子(26期P)、辰巳くみ子
 曲目：モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジークK. 525
 D. ミヨー スカラムーシュ
 ムソルグスキー 組曲「展覧会の絵」 他
 日時：2008年12月6日(土)17:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪梅本貴子クラリネットリサイタル
 出演：梅本貴子(46期Cl)、大町剛(37期Vc)
 曲目：マルティヌー クラリネット・ピアノのためのソナチネ
 ウェーバー 大協奏的二重奏曲
 ブラームス クラリネット三重奏曲 イ短調Op.114
 他
 日時：2008年12月10日(水)19:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター小ホール

♪京都フィロムジカ管弦楽団第24回定期演奏会
 出演：好本由希子(46期声)
 曲目：シベリウス クツレルヴォ交響曲
 日時：2008年12月14日(日)14:00
 会場：びわ湖ホール 大ホール

♪An Evening of Art Songs ~歌曲のタペ~
 出演：藤美千代(43期声) 他
 曲目：R. シュトラウス 夜、私は花束を編むつもりだった、
 ツェツィーリエ 他
 日時：2009年1月29日(木)19:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

♪四川大地震チャリティコンサート
 アジアからのうた ー冬の祈りのためにー
 出演：糞捷(院2P)、楊雪元(院21期声)、山上友佳子
 (34期作)、中村典子(32期作)、ウメル・ママト
 ト(博2作)
 曲目：中国古謡(黎英海編曲) 夕陽蕭鼓
 中村典子 アカ、ハタ、川のほとりのこもりうた
 ウメル・ママト 天山の風 他
 日時：2008年12月22日(月)19:00
 会場：STUDIO73(高槻市)

♪関田良ピアノリサイタル
 ~中欧の響き大地のリズムVol.2~
 出演：関田良(34期P)
 曲目：バルトーク 組曲Op.14
 スメタナ ポルカの形式によるボヘミアの思い出Op.13
 バツェビッチ ピアノソナタ第2番 他
 日時：2009年1月10日(土)14:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

♪池田みゆき アクアクレール・コンサート
 出演：池田みゆき(31期Fl) 他
 曲目：プホル カンドンペロスの2つのアリア
 ピアソラ タンゴの歴史 他
 日時：2009年1月18日(日)14:00
 会場：東京オペラシティ 近江楽堂

♪平居妙子&増永智子 ピアノデュオリサイタル
 出演：平居妙子(院18期P)、増永智子(院18期P)
 曲目：ドゥシェック ソナタ ヘ長調Op.26
 ラフマニノフ 組曲第2番Op.17
 大澤壽人 短いセレナード(初演)
 日時：2009年4月12日(日)14:00
 会場：京都府立府民ホール アルティ

♪石原由佳子ピアノリサイタル
 出演：石原由佳子(48期P)
 曲目：ハイドン ピアノソナタ ハ短調
 ショスタコーヴィチ 24の前奏曲Op.34
 シマノフスキー ポーランド民謡の主題による変奏曲Op.10
 他
 日時：2009年5月10日(日)15:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪松井萌ピアノリサイタル
 出演：松井萌(院21期P)
 曲目：ベートーヴェン ピアノソナタ第17番Op.31-2
 シューマン 幻想小曲集Op.12
 シューベルト ピアノソナタ 長調Op.78 D. 894
 日時：2009年5月17日(日)15:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪上田明美ピアノリサイタル
 出演：上田明美(44期P)

曲目：ベートーヴェン ピアノソナタ第14番「月光」Op.27-2
 ピアノソナタ第23番「熱情」Op.57
 ピアノソナタ第32番 Op.111
 日時：2009年6月14日(日)14:00
 会場：びわ湖ホール 小ホール

【既に開催された演奏会】

♪レッドファイブ・トロンボーンのみ会3次会
 出演：武内紗和子(52期Tb)、池田千紗(53期Tb) 他
 曲目：P. テレマン 4声のコンチェルト
 D. ユーバー トロンボーン4重奏のための3つの小品
 他
 日時：2008年8月31日(日)14:00
 会場：大阪市西区子供文化センター

♪ベルント・ツァック&高田剛志デュオリサイタル
 出演：高田剛志(38期Vc)、ベルント・ツァック(P)
 曲目：J. S. バッハ 無伴奏チェロ組曲第1番
 ベートーヴェン ピアノソナタ第2番Op.2-2
 C. フランク ソナタ イ長調 他
 日時：2008年9月21日(日)14:30
 会場：ドイツ文化会館OAGホール

♪clumusica <クラムジカ> プレ・シリーズ公演
 《genealogy of angel 天使の系譜》
 出演：木須すみれ(51期Vn)、中村仁美(Vn)、中村公俊
 (51期Va)、大西泰徳(49期Vc)、美堂舞(50期声)、
 細江真弓(52期打)、増田真結(51期作)、清水慶
 彦(48期作)、中村典子(32期作)
 曲目：増田真結
 Trauermusik für Bratsche und Schlagzeug
 (初演)
 中村典子 マナ 女声のための(1995/2008)
 清水慶彦 Numb 女声と電子音響のための(2005/2008)
 他
 日時：2008年9月21日(日)17:00
 会場：フィガロホール

♪After Hours Session 「仮面舞踏会」
 出演：松原央樹(29期Cl)、池村佳子(45期Vc)、ギオル
 ギ・バブアゼ(Vn)、右近恭子(25期Pf)、新穂優
 子(院20期Tb)
 曲目：F. プーランク 仮面舞踏会
 M. ラヴェル ヴァイオリンとチェロのためのソナタ 他
 日時：2008年9月26日(金)18:30
 会場：東梅田教会

♪今年も京都でクロスする~
 アンサンブル・Kyotossimo
 出演：加藤ユミコ(32期作)、吉岡アカリ、藤森亮一、
 吉田秀、小林玲子、藤林真理、フロランシャレール
 曲目：ドビュッシー チェロソナタd-moll
 プーランク フルートとピアノのためのソナタ
 加藤ユミコ タップダンスのためのシアターピース
 他
 日時：2008年9月30日(火)19:00
 会場：京都文化博物館別館ホール

♪真声会奈良支部第12回定期演奏会
 出演：野寺弘美(43期Vn)、玉井幸子(28期P)、佐藤謙
 蔵(35期声)、桐紀子(37期P)、西園真理(31期
 Vn)、前川典子(39期打)、山口暁子(42期P)
 曲目：ブラームス ヴァイオリンソナタ第2番イ長調Op.100
 トスティ 最後の歌
 シューマン おとぎの絵本 Op.113 他
 日時：2008年10月4日(土)18:00
 会場：秋篠音楽堂

♪山本祐梨子ピアノリサイタル
 出演：山本祐梨子(47期P)
 曲目：ベートーヴェン ソナタ第17番ニ短調Op.31-2「テンペスト」
 リスト スペイン狂詩曲
 ラフマニノフ ソナタ第2番変ロ短調Op.36(1931年改訂版)
 他
 日時：2008年10月13日(月)15:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪尾崎千賀子ソプラノリサイタル
 出演：尾崎千賀子(22期声)、太田恵(P)、豊田恭子(Vn)
 曲目：モーツァルト すみれ
 シューベルト 笑いと涙、ガニュメート
 R. シュトラウス 万霊節、献呈

山田耕柝 鐘が鳴ります、からたちの花 他
 日時：2008年10月18日(土)
 会場：ムラマツリサイタルホール新大阪

♪お昼間ピアノクインテット
 出演：江口陽子(51期Vc)、木須すみれ(51期Vn)、
 寺西一巳(34期Vn) 他
 曲目：モーツァルト アイネクライネナハトムジーク
 ビゼー オペラ「カルメン」より抜粋
 ドヴォルザーク ピアノ五重奏曲ヘ短調Op.34
 他
 日時：2008年10月26日(日)14:00
 会場：生田文化会館

♪萩原恵里ピアノリサイタル
 出演：萩原恵里(45期P)
 曲目：ハイドン ソナタ第60番ハ長調 Hob. XVI. 50
 ラヴェル 鏡
 メシアン《幼子イエスに注ぐ20のまなざし》より
 降誕祭、幼子イエスの口づけ 他
 日時：2008年10月26日(日)15:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪ピアノデュオの魅力Vol.2 ブラームスとドビュッシー
 ~対極の響き~
 出演：蜂谷葉子(29期P)、大岡真紀子(29期P)
 曲目：ブラームス ハンガリー舞曲集より
 第16番、第8番、第7番、第10番
 ブラームス 2台のピアノのためのソナタ ヘ短調 Op.34b
 ドビュッシー 牧神の午後への前奏曲 他
 日時：2008年11月1日(土)17:00
 会場：青山音楽記念館バロックザール

♪イエルク・デームス&田中裕子ピアノリサイタル
 出演：イエルク・デームス、田中裕子(32期P)
 曲目：モーツァルト アンダンテと5つの変奏曲
 シューベルト 即興曲 Op.90-2, 3
 ドビュッシー 喜びの島 他
 日時：2008年11月14日(金)19:00
 会場：サンポートホール高松第1小ホール

♪一ノ瀬夏美ピアノリサイタル ~My favorites~
 出演：一ノ瀬夏美(28期P)
 曲目：M. クレメンティ ソナチネOp.36-3
 M. ラヴェル 「鏡」より道化師の朝の歌
 F. ショパン 華麗なる大円舞曲Op.34-1 他
 日時：2008年11月27日(木)19:00
 会場：大阪フェニックスホール

♪小川真由美ピアノリサイタル 演連コンサート
 OSAKA52
 出演：小川真由美(42期P)
 曲目：ブラームス 4つのバラードOp.10
 ドビュッシー 2つのプレリュード 他
 日時：2008年11月28日(金)19:00
 会場：いずみホール

♪真声会関東支部第13回定期演奏会
 出演：熊谷房子(1期声)、島津与外次(5期声)、曾我
 尚江(27期P)、高橋知子(32期P)、堤幸子(31期
 声)、細川裕美子(23期P)、西脇由美(23期Fl)、
 加瀬照美(23期Vn)、中島佳代子(23期P)、加藤
 アオイ(15期P)、青谷哲也(15期声)、秋山喜久
 子(5期声)、文野真理(30期声)、川口則子(1期
 声)、小出八重子(4期声)、杉野昌子(6期声)、
 成島いづみ(30期声)、山崎ひとみ(31期声)、高
 橋律子(34期P)、奥田章子(32期P)、手島由紀
 子(30期声)、元木いづみ(32期P)
 曲目：ヴェルディ 歌劇《オテロ》より「オテロの死」
 J. シュトラウス二世 ワルツ「春の声」作品410
 ストラヴィンスキー ベトル・シュカ第3楽章 謝肉祭の日
 リスト メフィストワルツ第1番 他
 日時：2008年11月30日(日)14:00
 会場：すみだトリフォニーホール 小ホール

♪晩秋の調べ
 出演：宮武亜紀(46期P)、都築紗智子(46期Vn)、
 藤井麻実(46期Cl)
 曲目：ブラームス 6つの小品Op.118
 バルトーク コントラスト
 ドヴォルザーク 4つのロマンティックな小品
 マルティヌー クラリネットとピアノのためのソナタ
 日時：2008年11月30日(日)14:00
 会場：門真市民文化会館ルミエールホール小ホール

※演奏会の真声会後援および会報掲載は会費納入者のみとさせて頂いております。どうぞご了承ください。

真声会からのお知らせ

現在、真声会会則の見直しを進めております。次回総会で改定案が検討されますので、今年度発行予定の新名簿には会則は掲載されません。総会での承認後、会則を別途発行し配布いたします。どうぞご了承ください。

訃報

編集途中に悲しいお知らせが入って参りました。名誉教授の岩崎勇先生が10月22日、郷里熊本で客演中にご逝去されました。一ヶ月後の11月22日、15時より京都芸大講堂にて故岩崎勇先生を送る会が行われました。式の様子や追悼の言葉は次号に掲載させていただきます。

9期声楽 中島百合子様 2008年10月13日逝去
2期コントラバス 河辺辰四郎様 2008年10月22日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

霜月だというのにまだ冬は遠い、といった頃に編集作業を進めてまいりました。巷では風邪が大流行しており、編集委員も見事にやられました。まもなく冬本番、新型インフルエンザも話題になっていますので、やや不安を感じる今日この頃です。会員の皆さまとともども、「雨二モマケズ風邪二モマケズ」、元気に冬を越せますように……。(O)